

「第3次食育推進計画を知ろう」

講師 大阪府池田保健所 企画調整課
管理栄養士 川端 陽子氏



平成28年度から平成32年度までの5年間の第3次食育推進計画ではこれまで10年間の成果と社会環境の変化の中で明らかになった新たな状況や課題を5つの重点課題を柱に取組と施策を推進しています。

1. 「若い世代を中心とした食育の推進」

20歳代から30歳代の若い世代は、食に関する意識が低く、朝食の欠食や栄養の偏りなど多くの問題を抱えている。これらの問題を解決し、またその知識や取り組みを次世代につなげていけるようにする食育。

2. 「多様な暮らしに対応した食育の推進」

世帯構造や生活の多様化、社会環境の変化による様々な状況を踏まえ、地域や関連団体等の連携により全ての国民が健全で充実した食生活を実現できるよう、共食の機会の提供等を通じた食育を行うこと。

3. 「健康寿命の延伸につながる食育の推進」

健康寿命の延伸のために、健康づくりや生活習慣病の発症、重症化予防の改善に向けて健全な食生活を実践できるよう支援を行う。また食品関連事業者等を含む多くの関係者が主体的かつ多様な連携を図り、食環境の改善に取り組めるようにする。

4. 「食の循環や環境を意識した食育の推進」

国民自ら食に対する感謝の気持ちを深めていくために、生産者をはじめ多くの関係者により食が支えられていることを知り、感謝する心を持つ。

生産から消費まで食べ物の循環を意識し、食品ロスの削減等環境に配慮していけるようにする。

5. 「食文化の継承に向けた食育の推進」

郷土料理、伝統食材、食事の作法など日本の伝統的な食文化に関する国民の関心と理解を深め、その優れた特色を保護・継承する。

(文責 行政)

「スキルアップ研修会」に参加して

病院部会 古川 結以

最初の講演「栄養士会と栄養士の役割」では、栄養士会や管理栄養士・栄養士の社会的役割についての講義でした。栄養士会がどのような組織で、どのように運営しているかについて詳しい内容を知る上で、7つの職域部会について説明がありました。例えば、フリーランスで働く方や給食会社から業務委託として病院に勤める場合はどの部会に所属したらいいのか、各職域部会がどのような取り組みを行っているのかなどはよくわかっていなかったため、それぞれの部会について知ることができたのはよかったですと思います。

「第3次食育推進計画について」の講演では、実際の仕事で活かせる内容ということで、これまでの食育推進計画から変わった点やそれにもなう大阪府の取り組みについての講演でした。これまでの食育推進計画の内容から、「食育」と聞けば子どもを対象としている印象がありましたが、第3次では20～30代の「若い世代を中心とした食育の推進」を重要課題の一つに掲げており、教育現場ではない職場で働く私たちにも関係する内容であることがわかりました。

最後のフリートークで、ワールド・カフェ方式という手法を用いて普段職場で困っていることや悩みについて解決案や提案を出し合いました。働いている場所や環境が異なるため、自分にはない話を聞くことができ、今後仕事をしていく上でのヒントになるものが得られました。また機会があれば、大阪府栄養士会や日本栄養士会が実施している研修や講演会には積極的に参加しようと思います。